

《 7月16日～31日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/07/16 (月)	東京休場でアジア市場は薄商い。当初は小動きだったが途中で新潟中越沖地震発生。米経済指標が良好な内容になりドル買いとなるも続かず。その後は動意が途絶えた。	・新潟県中越沖地震発生(震度6強) ・7月NY連銀製造業景気指数26.5	・バウグー中銀総裁「ユーロ高は企業、消費者に良いこと」 ・アルムニア欧州委員「対欧州通貨での最近のドルの動き、正当化されず」	122.05	168.14	寄付
				122.19	168.34	安値
				121.55	167.72	高値
				121.89	167.88	終値
07/07/17 (火)	東京は休日明けの仲値不足からドル高に振れるもユーロ債の償還に伴う円買いなどに押され行って来い。欧米は発表された米経済指標が良好となったうえ、米債の利回り上昇からドル買い優勢。ドル高値引け。	・5月第3次産業活動指数▲0.1% ・7月のZEW景気指数10.4 ・6月の米PPI▲0.2%、同鉱工業生産0.5%、同設備稼働率81.7、5月の対米長期投資1261億ドルの資本流入、7月の住宅建設業者指数24	・NZ財務相「NZドルは過大評価されている」 ・7月月例経済報告で景気の基調判断据え置き ・シュミット欧州問題担当閣外相「G7は円と元についても議論すべき」	121.86	167.86	寄付
				122.42	168.70	安値
				121.69	167.73	高値
				122.33	168.60	終値
07/07/18 (水)	東京は「アスターズ」に関する報道に加え日経平均が弱含みに推移したことでも円買い優勢。欧米は米経済指標は良好ながら米サブプライムローン問題で新たな損失先発覚の噂などでドル買い難い。	・日銀が6月会合の議事録要旨公開 ・BOEが7月会合の議事録要旨公開、6対3で利上げ決定 ・6月の米CPIは0.2%、同住宅着工件数146.7万戸、同住宅建設許可140.6万戸	・「アスターズ」傘下のファンドの資産価値がほぼゼロになったと判明 ・豪中銀総裁「豪ドルが上昇していることに意外感はない」 ・FRB議長「住宅市場の調整は予想以上に時間がかかる可能性」	122.08	168.41	寄付
				122.30	167.98	安値
				121.58	168.52	高値
				121.96	168.34	終値
07/07/19 (木)	東京は早朝に報じられたテロ思惑から円買い優勢。しかし無関係と報じられたことで結果行って来い。欧米は発表された米経済指標がともにびやえず、まだFRB議長の発言もありさらにドルは買い難い雰囲気。	・マンハッタンで変圧器爆発の報あり ・5月の全産業活動指数▲0.3% ・6月の米景気先行指数▲0.3%、7月のFF連銀景気指数9.2 ・FOMCが6月会合の議事録要旨公開	・アルムニア欧州委員「ユーロの上昇を抑えるために介入することは反対」 ・米著名情報社がユーロ/円の売り推奨レポート送信の噂 ・FRB議長「サブプライムローン問題絡みの損失は500-1000億ドル」	121.95	168.36	寄付
				122.18	168.10	安値
				121.79	168.82	高値
				122.01	168.41	終値
07/07/20 (金)	東京は新規外債に絡む動きなどから円売り優勢。しかし中国利上げ観測が台頭したことで流れが一変。欧米は中国利上げ実施の報道に加え米サブプライムローンに絡む問題が別噴出。ドル売りに拍車かかる。	・第2四半期英GDP速報値0.8% ・S&Pが欧州で発行されたCDO14件を格下げ ・「FNMAとFHLMCがサブプライム関連の負債を抱えている」との一部報道あり	・当初「人民銀が利上げ協議」の噂、その後中銀が預金基準金利の0.27%引き上げ発表、また利子所得の源泉税率を引き下げへ ・SL連銀総裁「市場規模の観点からもサブプライムローン問題を注視」	122.12	168.50	寄付
				122.44	167.19	安値
				120.87	168.88	高値
				121.28	167.71	終値
07/07/23 (月)	週末参院選で自民党が大敗するとの見方もあり早朝のシドニーでは一時122円台も。その後は揉み合い。欧米は新規材料乏しいなか円買い意欲強い。損切りを巻き込みつつ円高進行し、120円台も。	・複数全国紙で「週末参院選で自民党大敗」との予想 ・ABN7月買収提案中の「パークレイズ」がSGP政府系投資会社・中国系銀行の支援を受ける、との報道あり	・加財務相「加ドル高で市場介入する計画ないが注視している」 ・シュタルクECB理事「ユーロの上昇はいまのところ緩やか」 ・米財務長官「住宅市場の不振は底に近い」	121.30	167.87	寄付
				121.52	167.87	安値
				120.80	167.02	高値
				121.09	167.19	終値
07/07/24 (火)	東京は引き続き円の買い戻しが強い展開。とくに材料はなかったがキャリートレード巻き戻しが依然活発。欧米は米サブプライムローン問題の懸念くすぶり依然ドルは買いにくい。キャリートレードの巻き戻し続く。	・米財務長官の訪中で人民元切り上げ圧力が掛かるとの噂 ・米住宅ローン最大手カントリーワイドが決算発表、大幅減益に ・7月のリッチモンド連銀製造業指数4	・SL連銀総裁「サブプライムローン問題は経済全般に波及せず」	120.98	166.96	寄付
				120.99	167.36	安値
				120.03	165.86	高値
				120.25	166.22	終値
07/07/25 (水)	東京は120円のOPTリガーを狙った仕掛けが奏功しドル一段安。一方豪ドルは財務相発言もあり小じっかり。欧米は揉み合い。サブプライムローン問題が依然としてドルの弱材料となるもNYダウ強含みでドルも底堅い。	・米MBA住宅ローン申請は前週比▲3.6% ・6月の米中古住宅販売575万戸 ・米地区連銀報告「消費は緩やかなペースで拡大」	・豪財務相「豪ドルは物価下落圧力になる見通し」 ・欧州経営者グループ「現在のユーロ高を懸念せず」	120.27	166.21	寄付
				120.65	166.23	安値
				119.80	164.70	高値
				120.50	165.34	終値
07/07/26 (木)	東京はやや円売り優勢。ただユーロ債の償還にともなう円買いなども影響は相殺された。欧米は発表された2つの米経済指標が弱めとなったうえ、米株が大きく崩れたことを受け円独歩高。	・NZが0.25%の利上げ実施 ・S&Pが香港の格付け見直しを引き上げ ・7月の独IFO景況指数106.4 ・6月の米耐久財受注1.4%、同新規住宅販売件数83.4万件	・NZ中銀総裁「これまでの4回の連続利上げはインフレ圧力を抑えるのに十分」 ・津田財務次官「為替の動き、注意深く見ている」	120.58	165.46	寄付
				120.75	165.51	安値
				118.52	162.90	高値
				118.69	163.16	終値
07/07/27 (金)	東京は早朝に円が急伸し一時118円台前半へ。しかしそのレベルでは値ごろ感によるドル買いが下支え。欧米は発表された米GDPが好数字になったこともありドル買い優勢。ただ株価がびやえずドル高の足枷に。	・6月の全国CPIは▲0.2% ・第2四半期の米GDP速報値3.4%、同個人消費速報値1.3%、同コアPCE価格指数速報値1.4%、7月のミシガン大消費者信頼感指数確報値90.4	・米財務長官「サブプライム問題は抑制されている」 ・キミット米財務副長官「APEC財務相会議では為替が議題に」	118.88	163.47	寄付
				119.29	163.95	安値
				118.02	161.51	高値
				118.61	161.72	終値
07/07/30 (月)	早朝のオセアニアで証拠金に絡む損切りの動き活発化。自民党大敗にも円高気味のレベルで推移。欧米は中国利上げの報道で一時円が買い進まれるも影響限定的。米株の反発を受けたドル買い戻し。	・前日の参院選で自民党大惨敗、ただ安倍首相は続投を表明 ・6月の鉱工業生産1.2% ・中国が預金基準金利を0.25%引き上げ12.0%に(8月15日から)	・安倍首相「内閣改造、役員人事の一新を行いたい」 ・シカゴ連銀「円、人民元は過小評価されている」	118.33	161.33	寄付
				119.17	163.20	安値
				118.08	161.25	高値
				119.06	163.08	終値
07/07/31 (火)	東京はやや円買いムード。月末の本邦勢リトリなどもありクロスを中心にドルでも円がしっくり。欧米は株価動向をにらみの展開。	・7月の独失業率9.0% ・6月の米個人所得0.4%、同コアPCE価格指数0.1%、同建設支出▲0.3%、7月のシカゴ購買部協会指数53.4、同	・米財務長官「人民元切り上げ狙う為替法案は逆効果」	119.20	163.57	寄付
				119.50	163.81	安値
				118.44	162.05	高値

注目の米株、この日は冴えず為替市場は円買いが強まった。	消費者信頼感指数112.6、第2四半期雇用コスト指数0.9%	118.60	162.28	終値
-----------------------------	--------------------------------	--------	--------	----

*製作・著作「FXニューズレター」 URL； <http://www.fx-newsletter.com/>